

平成25年度離島漁業再生支援交付金による取組概要

1. 集落協定の概要

都道県名：沖縄県

市町村名：宮古島市

島名：池間島

協定締結集落名：池間漁業集落

交付金額：1,768 千円

協定参加世帯数：17 人（うち漁業世帯 13 人）

2. 協定締結の経緯

宮古島市は八重干瀬などに代表される広大な珊瑚礁群に囲まれるとともに、島の南北に黒潮の潮流が流れるなど良好な海域環境を有しており、それらを活用した一本釣漁業、パヤオ漁業、網漁業、潜水器漁業、モズク養殖業等が営まれている。しかしながら、好漁場を有している一方、離島という地理的特性に起因する高コスト構造等の条件不利性などから漁業者の減少が進んでおり、この状況を放置すれば本市の漁業集落は一層衰退し、集落及び水産業が持つ多面的機能が低下することも懸念されている。

そのようなことから、漁業集落が行う漁場の生産力の向上や創意工夫を活かした取組などの活動を通じて漁業の再生を図りつつ、水産業が発揮する多面的機能の維持・増進に向け、池間集落において集落協定を締結し、離島漁業再生支援交付金による漁業再生活動に取り組むこととした。

3. 取組の内容

①漁場の生産力の向上に関する取組状況

◇種苗放流（タマンの放流）

水産資源の維持・回復に向けタマン（ハマフエフキ）の放流を実施。

実施日	実施海域	放流匹数
H25.11.12	池間ミシバイ地先	3,000 尾

実施状況写真



種苗積込状況



種苗放流状況

◇その他（サメ駆除）

一本釣漁業に漁業被害をもたらしているサメの駆除を実施。

実施状況写真



駆除の状況



駆除されたサメ

②集落の創意工夫を生かした取組状況

◇高付加価値化

直売施設等を活用した漁獲物の高付加価値化について視察を実施。

実施状況写真



沖縄市漁協直売店の視察



海の駅あやはし館への視察

◇流通体制の改善

活け締めによる流通過程の温度管理・品質管理の講習会を実施。

実施状況写真



活け締めの講習



流通過程の温度管理の講習

◇その他（魚食普及の取組）

朝市や民泊体験等を活用した魚食普及の取り組みを実施。

実施状況写真



朝市用テーブルの製作



民泊による子供達への魚食普及

4. 取組の成果

タマン（ハマフエフキ）の放流により水産資源の維持・回復が見込まれ、放流漁場での漁業の継続性に繋がる。

サメ駆除の実施により漁業被害の軽減が見込まれ、一本釣漁業の漁獲量が安定と伝統漁法である石巻落とし漁業の継承が期待される。

創意工夫を活かした高付加価値化、流通体制の改善の取組により、直売施設の活用方策や流通過程における温度管理方法等による漁獲物の価値向上が期待される。また、魚食普及の取組により集落外と交流が図られ、地元水産物の美味しさ、水産資源の重要性を普及することが出来た。